

# 【記入の手引】

## 個人申請

(第1号様式・第9関係)

### 《平成31(2019)年度》東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】第2期 助成金交付申請書(個人申請)

公益財団法人東京都歴史文化財団 理事長 殿

住所:東京都〇〇区〇〇〇\*-\*-\*-\*

〇〇〇〇ビル\*\*\*号室

\*住所は、マンション名、ビル名、部屋番号、〇〇様方、まで省略せずに記入してください。

\*東京都内に居住していない場合は申請できません。

申請者名:鈴木 〇〇〇 印

\*申請者の記名と押印をしてください。本名でも芸名でも可。

\*「申請者調書」に本名と芸名の記入欄があります。

\*今後のすべての助成手続きは、この押印と同一のものを使用させていただきます。

下記の事業を行いたいのので、東京芸術文化創造発信助成金交付要綱(単年助成)に基づき助成金の交付を申請します。

なお、申請関係書類に記載した個人情報については、公募ガイドライン8に基づき、公益財団法人東京都歴史文化財団へ提供・利用することについて承諾いたします。

フリガナ	
申請事業名	<p>*事業名称は、後から変更が生じないようにしてください。確定していない場合は末尾に「(仮)」と付けてください。</p> <p>*ここに記入するのは「申請者の名前」ではなく、助成を申請する「事業の名称」です。</p>
活動分野	<p><input type="checkbox"/> 美術・映像 <input type="checkbox"/> 伝統芸能</p> <p>*該当する <input type="checkbox"/> に、<input checked="" type="checkbox"/> または <input checked="" type="checkbox"/> を記入してください。</p> <p>*上記の分野以外は申請できません。</p>
実施場所	<p><input type="checkbox"/> 都内 <input type="checkbox"/> 海外 <input type="checkbox"/> 都内及び海外</p> <p>*該当する <input type="checkbox"/> をひとつ選び、<input checked="" type="checkbox"/> または <input checked="" type="checkbox"/> を記入してください。</p>
事業内容	<p><input type="checkbox"/> 都内での芸術創造活動 <input type="checkbox"/> 国際的な芸術交流活動</p> <p>*該当する <input type="checkbox"/> をひとつ選び、<input checked="" type="checkbox"/> または <input checked="" type="checkbox"/> を記入してください。</p> <p>*上記の事業内容以外は申請できません。</p>
助成申請額	<p>*申請書類で助成申請額を記入する箇所は、この枠内と、提出書類「収支予算書」内の「当助成金申請額」の2か所です(両方に同一の額を記入してください)。</p> <p>円(「収支予算書」記載の「当助成金申請額」)</p>

\*個人申請では、事業内容が「都内での芸術創造活動」と「国際的な芸術交流活動」のいずれも場合でも、助成申請額の上限は50万円で、補助率(助成対象経費に対する助成額の割合)は助成対象経費の1/2以内。

実施期間	開始日 (西暦)	年	月	日	終了日 (西暦)	年	月	日
<p>*公演・展示等の場合は、初日から最終日までを記入してください。準備期間（リハーサル等）は含めず、断続的に実施する場合は開始日と終了日を記入してください。</p> <p>*海外での事業の場合は、事業の初日から事業の最終日までを記入してください（出国日と帰国日ではありません）。</p> <p>*助成対象期間は、開始日 2020 年 1 月 1 日以降、終了日 2020 年 12 月 31 日まで。</p>								
実施会場	*事業を複数回実施する場合は、各回の日程と場所（会場名）を記入してください。			所在地	*都内の場合は区市町村名を、海外の場合は都市名／国名を下記のように記入してください。  〈例〉港区赤坂 立川市曙町 ロンドン／英国			
実施回数 または日数	参加者・観客数（見込）							
申請事業の概要	① 事業の趣旨・目的							
	<p>*簡潔かつ具体的に記入してください。</p> <p>*補足資料を提出する場合も、「別紙参照」とはせず、必ず記入してください。</p>							
申請事業の概要	② 事業の内容（プログラム、主なアーティスト・スタッフ等）							
	<p>*実施するプログラム、出演者名や参加者、スタッフ、対象とする観客層等を具体的に記入してください（未決定・交渉中の場合は、その旨を付記してください）。</p> <p>*補足資料を提出する場合も、「別紙参照」とはせず、必ず記入してください。</p>							
申請事業の概要	③ 実施スケジュール							
	<p>*企画会議、出演交渉、公募、会場予約、出演契約、チラシ作成、広報開始、リハーサル、報告書作成等、作業スケジュールを具体的に記入してください。</p>							
●この事業の実施に至る経緯・企画背景について具体的にお書きください。								
<p>*簡潔かつ具体的に記入してください。</p> <p>*補足資料を提出する場合も、「別紙参照」とはせず、必ず記入してください。</p>								
●この事業の達成目標について、具体的にお書きください。								
<p>*簡潔かつ具体的に記入してください。</p> <p>*補足資料を提出する場合も、「別紙参照」とはせず、必ず記入してください。</p>								
●この事業は当該分野や周辺分野、芸術文化全体、あるいは社会に対してどのような意義や波及効果があると思いますか？								
<p>*簡潔かつ具体的に記入してください。</p> <p>*補足資料を提出する場合も、「別紙参照」とはせず、必ず記入してください。</p>								
●審査基準：①革新性・独創性、②影響力・普及力、③国際性、④将来性・適時性、⑤継承性（伝統芸能分野の場合）において申請する事業が特にアピールする点について、その内容を具体的にお書きください。※複数選択可								
<p>*簡潔かつ具体的に記入してください。</p> <p>*補足資料を提出する場合も、「別紙参照」とはせず、必ず記入してください。</p>								
●アーカウンスル東京の助成は、主にどのような費目で役立つか具体的にお書きください。								
<p>*簡潔かつ具体的に記入してください。</p>								

	名 義	団体名	役 割
	*アーツカウンシル東京以外の助成団体等からの助成金・補助金、企業協賛金等について記入する箇所は、この枠内と、提出書類「収支予算書」内の「他の助成金・補助金」の2か所です。申請中の場合や申請を予定している場合でも、必ず記入してください。		
主催・共催・助成・ 提携・協賛・後援等 とその役割	主催	鈴木 ○○○  *主催者名は必ず記入してください。 *原則として、都内での活動の場合は、申請者名を記入してください。 *原則として、海外で実施する活動の場合は、現地の主催者名を記入してください。（ただし、申請者が自ら主催して行う海外事業の場合は、申請者名を記入） *共催等、申請者の他にも主催者が存在する場合は、必ずすべての主催者名を記入してください。	
	助成	○○○基金（申請中） *団体名の後ろに、（申請中）、（申請予定）、（決定）等を付記してください。	助成金
	提携	○○文化財団	会場費の減免
	後援	○○区教育委員会	後援名義使用

## ■助成金交付申請書の入力についての注意点

- 欄の追加・削除及び分割をしないでください。
- 欄内での「改ページ」はしないでください（欄内での「改行」は可能です）。
- 記入事項はできるだけ規定の欄内に収め、欄の高さの大幅な変更は避けてください。

収支予算書【単年助成プログラム】

\*申請書の「申請者名」と同じ名前を記入。  
(申請事業名ではありません)

申請者名: 鈴木 ○○○

\* 記入例: 個人 (美術・映像分野の場合)

【収入】 (円)

費目	① 内訳	② 予算額	③ 合計額
入場料・参加費収入	入場料収入 .....円×○○○枚	****	****
	ワークショップ参加費 .....円×○○○枚	****	
その他の収入	[共催者負担金]	④ ****	****
	○○○財団	****	****
	○○○事務局	****	****
	[他の助成金・補助金]	****	****
	○○文化財団 (申請中)	****	****
	[寄付金・協賛金]	****	****
○○株式会社	****	****	
[プログラム・図録等物販収入]	****	****	
[広告料・その他収入]	****	****	
入場料・参加費収入・その他の収入 小計			A ****
当助成金申請額	*「都内での芸術創造活動」及び「国際的な芸術交流活動」の場合は助成対象経費の2分の1、「創造環境向上に資する活動」の場合は助成対象経費の3分の2の額まで申請が可能です。但し、助成金交付上限額の範囲内に限りません。	⑤ ****	B ****
自己資金	[自己資金とその調達方法] 他の事業収入より充当 *調達方法は必ず記入してください。	⑥ ****	C ****
収入合計 A+B+C			⑦ ****

【支出】 (円)

費目	① 内訳	② 予算額	③ 合計額
助成対象経費	借作品 作品借料 (保険料含む) .....円×○点 *保険料は、借用に際し条件づけられている場合のみ。	****	****
	美術映像制作費 アーティストフィー .....円×○人 制作材料費 .....円×○点	**** ****	****
	出演費	⑧	
	音楽費		
	文芸費 キュレーターフィー	****	****
	会場費 会場使用料 ([会場名]・△日)	****	****
	舞台費		
	設営費 展覧会場設営撤去費 展覧会グラフィックス作成費 照明費 器材費	**** **** **** ****	****
	運搬費 作品梱包・運搬費	****	****
	謝金 ゲストスピーカー謝金 ○○○円×○人×△回 通訳謝金 ガイドスタッフ謝金 監視員謝金	**** **** **** ****	****
旅費 作家交通費 (△△～##往復) ゲストスピーカー①交通費 (◇◇～##往復) ゲストスピーカー②交通費 (☆☆～##往復) ゲストスピーカー宿泊費・日当 .....円×○人×△泊	**** **** **** ****	****	
通信費 案内状送付料 .....円×○○通	****	****	
宣伝費 特設ホームページ企画運営費	****	****	
印刷費 チラシ・ポスター印刷費 案内マップ印刷費 チラシデザイン料	**** **** ****	****	
記録費 写真費 録画費	**** ****	****	
助成対象経費 小計			D *****
助成対象外経費	イベント保険料 *飲食関連の経費の記載は不可。	****	E ****
支出合計 D+E			⑩ ****

収支予算書【単年助成プログラム】

\*申請書の「申請者名」と同じ名前を記入。  
(申請事業名ではありません)

申請者名: 神田 ○○○

\* 記入例: 個人 (伝統芸能分野の場合)

【収入】 (円)

費目	① 内訳	② 予算額	③ 合計額
入場料・参加費収入	【会場の収容人数】 ○○劇場 ××人		
	【前売り】 一般 ……円×○○○枚 学生席 ……円×○○○枚	**** ****	
	【当日】 S席 ……円×○○○枚 学生席 ……円×○○○枚	**** ****	
	(有料入場見込みを◇◇%で積算) 入場見込み 有料 ○○○○人 無料 ××人		*****
	【共催者負担金】		****
	【他の助成金・補助金】 文化庁(申請中) ○○文化財団(決定) ××文化助成(申請予定)	**** **** ****	*****
その他の収入	【寄付金・協賛金】		****
	【プログラム・図録等物販収入】 パンフレット販売 ……円×○○部	****	****
	【広告料・その他収入】 パンフレット広告料 ……円×○○件 ……円×○○件	**** ****	*****
	<b>入場料・参加費収入・その他の収入 小計</b>	<b>A</b>	<b>*****</b>
当助成金申請額	*「都内での芸術創造活動」及び「国際的な芸術交流活動」の場合は助成対象経費の2分の1、「創造環境向上に資する活動」の場合は助成対象経費の3分の2の額まで申請が可能です。但し、助成金交付上限額の範囲内に限りません。		⑤ ***** B
自己資金	【自己資金とその調達方法】 他の公演収入より充当 *調達方法は必ず記入してください。	⑥ ****	C *****
<b>収入合計</b>	<b>A+B+C</b>		⑦ *****

【支出】 (円)

費目	① 内訳	② 予算額	③ 合計額	
助成対象経費	借作品			
	芸術作品制作費		⑧ ****	
	出演費	出演料 ……円×○人×△回 ……円×○人×△回 ……円×○人×△回	**** **** ****	*****
	音楽費	作調料 楽器借料 作曲料	**** **** ****	*****
	文芸費	脚本料 演出料 舞台監督料 舞台美術デザイン料 照明プラン料 衣裳デザイン料 振付料 映像製作費 企画制作費	**** **** **** **** **** **** **** **** ****	*****
	会場費	会場使用料(○○劇場・△日間) 付帯設備使用料 稽古場借料 ……△△日間	**** **** ****	*****
	舞台費	大道具費 小道具費 舞台スタッフ費 照明人件費 ……円×○人×△回 音響人件費 ……円×○人×△回 照明機材費 音響機材費 器材借料 衣装費	**** **** **** **** **** **** **** ****	*****
	設営費	会場設営・撤去人件費 ……円×○人×△回	****	*****
	運搬費	道具運搬費 ……円×○回	****	*****
	謝金	会場整理員謝金 ……円×○人×△回 プログラム解説執筆謝金	**** ****	*****
旅費	交通費(◇◇～##往復) ……円×○人×△回	****	*****	
通信費	案内状送付料 ……円×○○通	****	*****	
宣伝費	広告宣伝費(雑誌広告掲載) 特設サイト開設費 入場券販売手数料(登録料) " ……円×○○枚×△△% " ……円×○○枚×◇◇%	**** **** **** ****	*****	
印刷費	入場券印刷費 ……円×○○枚 チラシ印刷費 ……円×○○枚 ポスター印刷費 ……円×○○枚 チラシデザイン料 ポスターデザイン料	**** **** **** **** ****	*****	
記録費	写真費 録画費	**** ****	*****	
<b>助成対象経費 小計</b>			D *****	
⑨ 助成対象外経費	イベント保険料 有料パンフレット原稿執筆謝金 有料パンフレット印刷費 *飲食関連の経費の記載は不可。	**** **** ****	E *****	
<b>支出合計</b>	<b>D+E</b>		⑩ *****	

## 記入の手引き【収支予算書】単年プログラム

## 個人申請

番号	項目	記入上の注意
①	内訳	○単価×数量（人数、日数、回数など）を具体的に記入してください。 ○内訳の記載は、「雑費」「その他」「…等」とせず、具体的に記入してください。
②	予算額	予算を円単位で記入してください。
③	合計額	項目ごとの合計額を円単位で記入してください。
④	〔共催者負担金〕 〔他の助成金・補助金〕 〔寄付金・協賛金〕	申請中の場合は（申請中）、申請予定の場合は（申請予定）とし、申請額または見込額を計上してください。
⑤	当助成金申請額	<b>申請額は必ず記入してください。</b> ○当助成金申請額は、助成対象経費（D）の2分の1以内であることを確認してください。 ○当助成金申請額の上限は、50万円です。 ○個人申請の対象となる分野は、 <b>美術・映像分野、伝統芸能分野</b> だけです。 ○対象となる活動は、「都内での芸術創造活動」または「国際的な芸術交流活動」（海外公演・展示、国際コラボレーション等）です。（詳しくは、公募ガイドラインP.5参照）  <b>*申請書類で助成金申請額を記入する箇所は、この枠内と、提出書類「助成金交付申請書」の「助成申請額」の2か所です（両方に同一の額を記入してください）。</b>
⑥	自己資金とその資金調達方法	○支出合計（⑩）と、収入欄の <b>A</b> 「入場料・参加費収入・その他の収入小計」 + <b>B</b> 「当助成金申請額」の合計との差額を、 <b>C</b> 「自己資金」に記入してください。 ○自己資金の財源・調達方法は必ず記入してください。
⑦	収入合計	支出合計（⑩）と一致させてください。
⑧	助成対象経費	○支出経費は、事業を実施する際に必要な金額のみを計上してください。 ○経費には、（1）助成対象経費、（2）助成対象外経費、（3）収支予算書及び収支決算書に記載できない経費、の3種類があります。 <b>収支予算書に記載できるのは（1）（2）のみ</b> です。ガイドラインの別表1【助成対象経費一覧表】を確認し、該当する経費を費目ごとに計上してください。
⑨	助成対象外経費	○ガイドラインの別表1【助成対象経費一覧表】を確認し、「（2）助成対象外経費」に該当する経費を計上してください。 ○ガイドラインの別表1【助成対象経費一覧表】の「（3）収支予算書／決算書に記載できない経費」は、「助成対象外経費」欄にも記入できませんのでご注意ください。 <b>*例えば、飲食に関わる経費は、「助成対象外経費」にも計上できません。</b>
⑩	支出合計	収入合計（⑦）と一致させてください。

個人申請 美術・映像分野

【記入の手引き】

申請者調書 ①プロフィール

氏名	フリガナ	スズキ ○○○		フリガナ	○○○ キズス						
	本名	鈴木 ○○○ *申請者の本名を必ず記入してください。		芸名等	○○○ KIZUSU *芸名やペンネーム等がある場合に記入してください。 *「交付申請書」の「申請者名」に記入するのは、本名でも芸名でも可。						
申請者住所 (書類等送付先)	住所	郵便番号	***** (例:1110000 “-”不要)	電話	**-****-**** (例:03-0000-0000)						
		市区町村名・番地	東京都○○区○○町** *所在地は都内であること	FAX	**-****-**** (例:03-0000-0000)						
		建物名・部屋番号	○○ビル***号室 *マンション名、ビル名、部屋番号、 ○○様方まで、省略せず記入	E-MAIL	*****@*****.jp						
WebsiteのURL、あるいはFacebook・TwitterなどのSNSアカウント		http://*****.com									
専門分野・職能	絵画、彫刻、インスタレーション、メディアアート、デザイン等/アーティスト、キュレーター、研究者等 *申請者の専門分野または職能について記入してください。			生年月 (西暦)	19○○	年	01	月	年齢(満)	35	歳
				性別	男						
主な経歴 ※書ききれない場合は別紙添付も可 *主な経歴について記入(教育機関・師事した人物・芸術団体所属歴・個人としての受賞歴・受給した奨学金等)	年月 - 年月	教育機関・師事した人物・芸術団体所属歴・個人としての受賞歴・受給した奨学金等 ※伝統芸能分野の場合は研鑽履歴も付記									
	****年**月~****年**月	○○大学芸術学部○○学科(○○専攻) 指導教授:○○○○先生									
	****年**月~****年**月	○○の○○氏に師事									
	****年**月	『○○○○』にて第**回○○賞新人賞候補となる									
	****年**月	『○○○○』にて第**回○○賞新人賞受賞									
	****年**月	○○国○○美術館の招聘により○○プログラムに参加									
		*書ききれない場合は別紙添付も可。									
主な芸術活動歴・創作制作上の特色・代表作											
過去3年間に個人として受けた助成金・補助金・協賛金等の名称、事業名(公演やプログラム・作品等の名称)、金額											
○○○振興財団(100万円)、○○○海外研修制度(1年、○○万円)、○○展2012(○○新人賞:200万円) *過去3年間に個人として受けたものについて、団体名及び金額を記入してください。助成金等の場合はプログラム名も記入してください。											

申請者調査[別紙]

②その他の参画者・助演者のプロフィール

【記入の手引き】

\*その他の参画者・助演者について記入してください。

\*本紙には2人分の枠が記載されていますが、それ以上の人数を記入する場合は、枠を人数分増やしてお使いください。

氏名	フリガナ	サトウ ○○○		フリガナ	○○○ ○○○						
	本名	佐藤 ○○○		芸名等	○○○ ○○○ *芸名やペンネーム等がある場合に記入してください。						
専門分野・職能	*申請者の専門分野または職能について記入してください。			生年月月 (西暦)	19○○	年	12	月	年齢(満)	40	歳
				性別	女						
主な経歴 ※書ききれない場合は別紙添付も可 *主な経歴について記入(教育機関・師事した人物・芸術団体所属歴・個人としての受賞歴・受給した奨学金等)	年 月 - 年 月	教育機関・師事した人物・芸術団体所属歴・個人としての受賞歴・受給した奨学金等 ※伝統芸能分野の場合は研鑽履歴も付記									
	****年**月~****年**	○○大学芸術学部○○学科(○○専攻) 指導教授:○○○○先生									
	****年**月~****年**	○○の○○氏に師事									
	****年**月	『○○○○』にて第**回○○賞新人賞候補となる									
	****年**月	『○○○○』にて第**回○○賞新人賞受賞									
	****年**月	○○国○○美術館の招聘により○○プログラムに参加									
		*書ききれない場合は別紙添付も可。									
主な芸術活動歴・創作制作上の特色・代表作											

②その他の参画者・助演者のプロフィール

氏名	フリガナ			フリガナ							
	本名			芸名等							
専門分野・職能				生年月月 (西暦)		年		月	年齢(満)		歳
				性別							
主な経歴 ※書ききれない場合は別紙添付も可	年 月 - 年 月	教育機関・師事した人物・芸術団体所属歴・個人としての受賞歴・受給した奨学金等 ※伝統芸能分野の場合は研鑽履歴も付記									
主な芸術活動歴・創作制作上の特色・代表作											

\*この「1人分の枠」全体をコピーして、人数分増やしてお使いください。

個人申請 美術・映像分野

【記入の手引き】

申請者調書 ③活動実績

① 東京都内での活動実績をひとつ以上含めて記入してください。

2 活 動 実 績	2016 年度			2017 年度			2018 年度以降 *申請時点までの実績を記入可		
	主催(国内外)／依頼(国内)／海外(招聘)の別と、主催者・共催者等			主催(国内外)／依頼(国内)／海外(招聘)の別と、主催者・共催者等			主催(国内外)／依頼(国内)／海外(招聘)の別と、主催者・共催者等		
	事業名(活動形態)			事業名(活動形態)			事業名(活動形態)		
	会場名(所在地)			会場名(所在地)			会場名(所在地)		
	実施回数/日数	観客・参加者数	事業費	実施回数/日数	観客・参加者数	事業費	実施回数/日数	観客・参加者数	事業費
	③	④							
		⑤							
		⑥							
	⑦ 回/日	⑧ 名	⑨ 千円	回/日	名	千円	回/日	名	千円
	主催(国内)	協力:〇〇アートギャラリー							
企画展『〇〇〇〇〇〇』			国内記入例						
〇〇〇〇美術館(東京都〇〇市)									
8 日	3,500 名	15,000 千円	回/日	名	千円	回/日	名	千円	
海外(招聘)	〇〇〇〇ビエンナーレ								
企画展『〇〇〇〇〇〇』			海外記入例						
〇〇国〇〇美術館(パリ/フランス)									
12 日	5,000 名	2,200 千円	回/日	名	千円	回/日	名	千円	
回/日	名	千円	回/日	名	千円	回/日	名	千円	

■ 申請者調書の入力についての注意点

- 欄の追加・削除及び分割をしないでください。
- 記入事項は規定の欄内に収め、欄の高さの変更を避けてください。

①	東京都内での活動実績	○最近3年間に、申請する分野の <b>東京都内での活動実績が1回以上あること</b> が、申請者の要件となっています。
②	活動実績	○東京都以外での活動も記入してください。 ○ツアー等で複数の場所で実施した場合は、まとめて記入しても構いません。 ○すべての活動について記入する必要はありません。 ○欄内に書ききれない場合は、別紙（書式自由）を提出してください。
③	主催（国内外） 依頼（国内） 海外（招聘）	主催（国内外）： 申請者が主催して日本国内または海外で実施する事業 依頼（国内）： 第三者から依頼を受けて日本国内で実施する事業 海外（招聘）： 海外のアートプロジェクト・フェスティバル等から招聘されて実施する事業 コラボレーションの相手方から招聘されて実施する活動
④	主催者・共催者名	○申請者以外に主催者または共催者が存在する場合に記入
⑤	事業名（活動形態）	○事業の名称と、その活動形態（公演、展示、アートプロジェクト、ワークショップ、レクチャー等）を記入してください。
⑥	会場名（所在地）	○所在地は、国内の場合は都道府県・区市町村まで、海外の場合は国名・都市名まで記入してください。
⑦	実施回数/日数	○事業の実施回数及び実施日数を記入してください。
⑧	観客・参加者数	○観客または参加者の延べ人数を記入してください。
⑨	事業費	○主催（国内外）の場合は、事業費を記入してください。

個人申請 伝統芸能分野

【記入の手引き】

申請者調書 ①プロフィール

氏名	フリガナ	スズキ ○○○	フリガナ	ニダイ ○○○ ○○○						
	本名	鈴木 ○○○ *申請者の本名を必ず記入してください。	芸名等	二代 ○○○ ○○ *芸名やペンネーム等がある場合に記入してください。 *芸名が複数ある場合は、今回の申請事業に関わる芸名を記入してください。 *「交付申請書」の「申請者名」に記入するのは、本名でも芸名でも可。						
申請者住所 (書類等送付先)	住所	郵便番号	***** (例:1110000 “-”不要) *郵便番号にはハイフンを入れない	電話	**-*-*-**** (例:03-0000-0000)					
		市区町村名・番地	東京都○○区○○町*** *所在地は都内であること	FAX	**-*-*-**** (例:03-0000-0000)					
		建物名・部屋番号	○○ビル***号室 *マンション名、ビル名、部屋番号、○○様方まで、省略せず記入	E-MAIL	*****@*****.jp					
WebsiteのURL、あるいはFacebook・TwitterなどのSNSアカウント		http://*****.com								
専門分野・職能	○○三味線方、○○流日本舞踊 *申請者の専門分野または職能について記入してください。 (流派等については経歴欄に記入していただいても構いません。)		生年月 (西暦)	19○○	年	01	月	年齢(満)	45	歳
			性別	女						
主な経歴 ※書ききれない場合は別紙添付も可 *主な経歴について記入してください。 (教育機関・師事した人物・芸術団体所属歴・個人としての受賞歴・受給した奨学金等。研鑽履歴も付記。) *書ききれない場合は別紙添付も可。	年月 - 年月	教育機関・師事した人物・芸術団体所属歴・個人としての受賞歴・受給した奨学金等 ※伝統芸能分野の場合は研鑽履歴も付記								
	****年**月~****年**月	○歳より、○○○氏(師)に師事。○○○より、○○○の手ほどきを受ける。								
	****年**月~****年**月	○○大学芸術学部○○学科(○○専攻)								
	****年**月	○○を襲名。○○で初舞台。等々								
	****年**月	○○を○○○に師事。								
	****年**月	○○○主催「○○○コンクール」○○部門 第○位。								
	****年**月	第○回 ○○公演の成果に対して「第○回 ○○賞」受賞。								
	****年**月	○○大学○○科 非常勤講師を務める。								
****年現在	○○会、○○○会会員、○○○連盟所属、○○会主宰。									
主な芸術活動歴・創作制作上の特色・代表作										
****年 ○○主催「○○○○の会」に参加。(曲名も)										
****年 「第1回○○○○リサイタル」を主催。(○○ホール)										
〈代表作〉「○○○」「○○○○」										
○○○で継承されてきた○○○の研鑽と伝承、普及に取り組んでいる。										
過去3年間に個人として受けた助成金・補助金・協賛金等の名称、事業名(公演やプログラム・作品等の名称)、金額										
○○○振興基金(○○万円)、○○○海外研修制度(1年、○○万円)										
*過去3年間に個人として受けたものについて、団体名及び金額を記入してください。助成金等の場合はプログラム名も記入してください。										

# 個人申請 伝統芸能分野

個人申請

申請者調書[別紙]

## ②その他の参画者・助演者のプロフィール

### 【記入の手引き】

\*その他の参画者・助演者について記入してください。

\*本紙には2人分の枠が記載されていますが、それ以上の人数を記入する場合は、枠を人数分増やしてお使いください。

氏名	フリガナ	サトウ ○○○		フリガナ	○○○ ○○○						
	本名	佐藤 ○○○		芸名等	○○○ ○○○ *芸名やペンネーム等がある場合に記入してください。						
専門分野・職能	○○流尺八 *申請者の専門分野または職能について記入してください。			生年月 (西暦)	19○○	年	12	月	年齢(満)	55	歳
				性別	男						
主な経歴 ※書ききれない場合は別紙添付も可 *主な経歴について記入(教育機関・師事した人物・芸術団体所属歴・個人としての受賞歴・受給した奨学金等)	年 月 - 年 月	教育機関・師事した人物・芸術団体所属歴・個人としての受賞歴・受給した奨学金等 ※伝統芸能分野の場合は研鑽履歴も付記									
	****年**月~****年**	○歳より、○○○氏(師)に師事。									
	****年**月~****年**	○○を○○○に師事。									
	****年**月	○○○主催「○○○コンクール」○○部門 第○位。									
	****年現在	○○会、○○○会会員、○○○連盟所属、○○会主宰。									
		*書ききれない場合は別紙添付も可。									
主な芸術活動歴・創作制作上の特色・代表作											

## ②その他の参画者・助演者のプロフィール

氏名	フリガナ			フリガナ							
	本名			芸名等							
専門分野・職能				生年月 (西暦)		年		月	年齢(満)		歳
				性別							
主な経歴 ※書ききれない場合は別紙添付も可	年 月 - 年 月	教育機関・師事した人物・芸術団体所属歴・個人としての受賞歴・受給した奨学金等 ※伝統芸能分野の場合は研鑽履歴も付記									
主な芸術活動歴・創作制作上の特色・代表作											

\*この「1人分の枠」全体をコピーして、人数分増やしてお使いください。

個人申請 伝統芸能分野

【記入の手引き】

申請者調書 ③活動実績

① 東京都内での活動実績をひとつ以上含めて記入してください。

2 活 動 実 績	2016 年度			2017 年度			2018 年度以降 *申請時点までの実績を記入可		
	主催(国内外)／依頼(国内)／海外(招聘)の別と、主催者・共催者等			主催(国内外)／依頼(国内)／海外(招聘)の別と、主催者・共催者等			主催(国内外)／依頼(国内)／海外(招聘)の別と、主催者・共催者等		
	事業名(活動形態)			事業名(活動形態)			事業名(活動形態)		
	会場名(所在地)			会場名(所在地)			会場名(所在地)		
	実施回数/日数	観客・参加者数	事業費	実施回数/日数	観客・参加者数	事業費	実施回数/日数	観客・参加者数	事業費
	③	④							
		⑤							
		⑥							
	⑦ 回/日	⑧ 名	⑨ 千円	回/日	名	千円	回/日	名	千円
	依頼(国内)	主催:〇〇〇の会							
普及事業「〇〇〇」体験コンサート			国内記入例						
〇〇会館(東京都〇〇区)									
1 回/日	60 名	***千円	回/日	名	千円	回/日	名	千円	
海外(招聘)	〇〇フェスティバル								
公演『〇〇〇〇〇〇』			海外記入例						
〇〇劇場(パリ/フランス)									
**回/日	***名	****千円	回/日	名	千円	回/日	名	千円	
回/日	名	千円	回/日	名	千円	回/日	名	千円	

■ 申請者調書の入力についての注意点

- 欄の追加・削除及び分割をしないでください。
- 記入事項は規定の欄内に収め、欄の高さの変更を避けてください。

①	東京都内での活動実績	○最近3年間に、申請する分野の <b>東京都内での活動実績が1回以上あること</b> が、申請者の要件となっています。
②	活動実績	○東京都以外での活動も記入してください。 ○ツアー等で複数の場所で実施した場合は、まとめて記入しても構いません。 ○すべての活動について記入する必要はありません。 ○欄内に書ききれない場合は、別紙（書式自由）を提出してください。
③	主催（国内外） 依頼（国内） 海外（招聘）	主催（国内外）： 申請者が主催して日本国内または海外で実施する事業 依頼（国内）： 第三者から依頼を受けて日本国内で実施する事業 海外（招聘）： 海外のアートプロジェクト・フェスティバル等から招聘されて実施する事業 コラボレーションの相手方から招聘されて実施する活動
④	主催者・共催者名	○申請者以外に主催者または共催者が存在する場合に記入
⑤	事業名（活動形態）	○事業の名称と、その活動形態（公演、ワークショップ、レクチャー等）を記入してください。
⑥	会場名（所在地）	○所在地は、国内の場合は都道府県・区市町村まで、海外の場合は国名・都市名まで記入してください。
⑦	実施回数/日数	○事業の実施回数及び実施日数を記入してください。
⑧	観客・参加者数	○観客または参加者の延べ人数を記入してください。
⑨	事業費	○主催（国内外）の場合は、事業費を記入してください。

## 誓約書

公益財団法人 東京都歴史文化財団理事長 殿

東京芸術文化創造発信助成金交付要綱(単年助成)第9条の規定に基づく助成金等の交付の申請を行うに当たり、当該申請により助成金等の交付を受けようとする者(個人又は法人その他の団体にあつては、代表者、役員又は使用人その他の従業員若しくは構成員を含む)が東京都暴力団排除条例第2条第2号に規定する暴力団、同条第3号に規定する暴力団員又は同条第4号に規定する暴力団関係者(以下「暴力団員等」という)に該当せず、かつ将来にわたっても該当しないことをここに誓約いたします。

また、この誓約に違反又は相違があり、同要綱第27条の規定により助成金等の交付の決定の取消しを受けた場合において、同要綱第28条の規定に基づき返還を命じられたときは、これに異議なく応じることを誓約いたします。

あわせて、理事長が必要と認めた場合には、暴力団員等であるか否かの確認のため、警視庁へ照会がなされることに同意いたします。

年 月 日

住 所 \*申請書と同じ住所を記入

氏 名 \*申請書に記入した「申請者名」と同じ名前を記入  
\*申請書に記入した「申請者名」が芸名の場合は、本名も併記

印

\*印は申請書と同じものを押印

- \* この誓約書における「暴力団関係者」とは、以下の者をいう。
- ・ 暴力団又は暴力団員が実質的に経営を支配する法人等に所属する者
  - ・ 暴力団員を雇用している者
  - ・ 暴力団又は暴力団員を不当に利用していると認められる者
  - ・ 暴力団の維持、運営に協力し、又は関与していると認められる者
  - ・ 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる者

## ■別表2 提出書類の詳細 兼 チェックリスト【単年助成プログラム】

提出書類の規格はA4判・片面印刷とし、ホチキス止めはしないでください(チラシ等、既存の印刷物は除く)。

\*申請書は年度ごとに異なります。必ず当該年度の申請書を使用してください。また助成プログラムごとに書類が異なりますのでご注意ください。

番号	提出物と内容	提出	作成上・提出上の注意点	チェック欄
■平成31(2019)年度第2期 東京芸術文化創造発信助成【単年助成プログラム】申請書一式 (指定の様式)				
1	【単年助成プログラム】助成金交付申請書(団体申請用または個人申請用)	必須	代表者印を押印	<input type="checkbox"/>
2	収支予算書	必須		<input type="checkbox"/>
3	申請団体調書 ①団体概要 ②創作・制作の核となる人物のプロフィール ③団体の活動実績 ※個人申請の場合は、①プロフィール ②その他の参画者のプロフィール ③活動実績	必須	「③活動実績」には東京都内での実施を含める。	<input type="checkbox"/>
4	上の1~3までのデータ(CD-R等)	必須	MicrosoftのWordおよびExcel形式で保存。PDFファイルは不可	<input type="checkbox"/>
5	暴力団等に該当しないことの「誓約書」	必須	代表者印を押印	<input type="checkbox"/>
■申請者に関する資料 (任意の書式)				
6	定款、寄付行為またはこれに類する規約、会則	必須※	ガイドライン「3. 申請者の資格」のうちウ~オの内容が明記されたもの ※個人申請の場合は不要	<input type="checkbox"/>
7	会計資料 法人格を有する団体:財務諸表 (貸借対照表、損益計算書等) 任意団体:収支決算書	必須※	前年度(決算終了した直近の年度)のもの ※個人申請の場合は不要	<input type="checkbox"/>
8	これまでの活動実績を示す資料 (例)映像・音源、チラシ、プログラム・カタログ、新聞・雑誌・インターネット媒体での記事・批評・評論、団体概要資料等	必須	・申請内容の参考になるものや特に重要なものを選んで提出のこと。 ・映像や音源の資料を添付する場合は、一般的なプレイヤーやパソコンで再生できる形式(DVD、DVD-R、CD、CD-R等)で提出してください。また、動画共有サイトの該当ページのURLを別紙に記載し提出することも可能。	<input type="checkbox"/>
■申請事業に関する資料 (任意の書式)				
9	補足資料(企画書等、申請内容に直接関連する資料)	任意	伝統芸能分野で稀有な種目について申請する場合は、該当種目についての説明資料	<input type="checkbox"/>
□ガイドライン「1.(4)活動内容」を「イ 国際的な芸術交流活動」で申請する場合(任意の書式)				
9	補足資料(上の9に同じ)	必須	9から14が英語以外の言語による場合は、日本語訳を添付  ※海外で実施の場合のみ	<input type="checkbox"/>
10	海外受入側からの招聘状または契約書/相手方からの同意書または契約書	必須		<input type="checkbox"/>
11	海外受入側または相手方の概要、アーティストプロフィール等	必須		<input type="checkbox"/>
12	スケジュール(日本出発日または日本到着日から帰国日まで)	必須		<input type="checkbox"/>
13	渡航または来日のメンバーリスト	必須		<input type="checkbox"/>
14	会場資料(運営体、所在地、収容人数がわかるもの)	必須※	<input type="checkbox"/>	
■	別表2 提出書類の詳細 兼 チェックリスト	必須	本紙	<input type="checkbox"/>

\*団体名の記載を忘れずに。

\*今年度に設立した団体は、団体の核となる構成員または構成団体の活動について前年度の収支決算書を提出。

\*予定段階のものでも構いませんので、文書の9から14まで、何らかの資料を必ずご提出ください。